

特集 I

真宗高田派本山

專修寺

◆高田本山專修寺

三重県津市一身田町にある「高田本山専修寺」は、全国に 600 余ヶ寺ある真宗高田派の本山で、宗祖親鸞聖人のみ教えを受け継ぐ寺院である。境内の御廟では、栃木県芳賀郡二宮町にある本寺専修寺と共に親鸞聖人のご遺骨が守られている。

三重県最大の寺院ながら、地

元の人からは親しみを込め、「高田本山」と呼ばれている。

である御影堂や如意堂など多く
の文化財や法寶物を所蔵してい
る。真宗最大の法会「報恩講」
は、毎年1月9日～16日まで行
われる。

◆歴史

親鸞聖人



◆親鸞聖人

(1173)、京都の南東、日野の
里で誕生した。父は日野有範ひ
のありのり)、母は吉光女(きつ
こうによ)、幼名は松若丸とい
い、日野家は藤原一門だった。

両親とも早くに死別した聖人は、治承5年（1181）9歳の春、京都粟田口の青蓮院において出家得度し、範宴（はんえん）と名付けられた。

修行のため比叡山に登った幼い聖人は修業に徹し、厳しい日々を送った。教えに従い修行と学問に努力したものの、修業すればするほど自分の心の醜さや弱さが見えてくる。20年とい

う長い時間、比叡山で苦惱や疑問を抱え、修行をした聖人は、仏になる道を探し、聖徳太子ゆかりの地を訪ねる旅にも出た。聖人は、東山吉水の草庵に法然上

の夢のお告げを得て、54歳のとき栃木県芳賀郡二宮町高田の地に一字を建立。専修念佛の根本

る。そして、戦国時代に入るところが本山として定着していく。

専修寺の伽藍は2度の火災に遭ったものの立派に再建された。一番大きな重要文化財「御影堂」の大修理も平成19年（2007）12月20日に完了し、ご本尊「親鸞聖人の御木像」を如来堂から御影堂へ移す法会も平成20年（2008）1月8日に行われた。

高田本山専修寺は、現在においても人々の信仰の拠り所として全国からの参拜者が絶えることはない。

としない

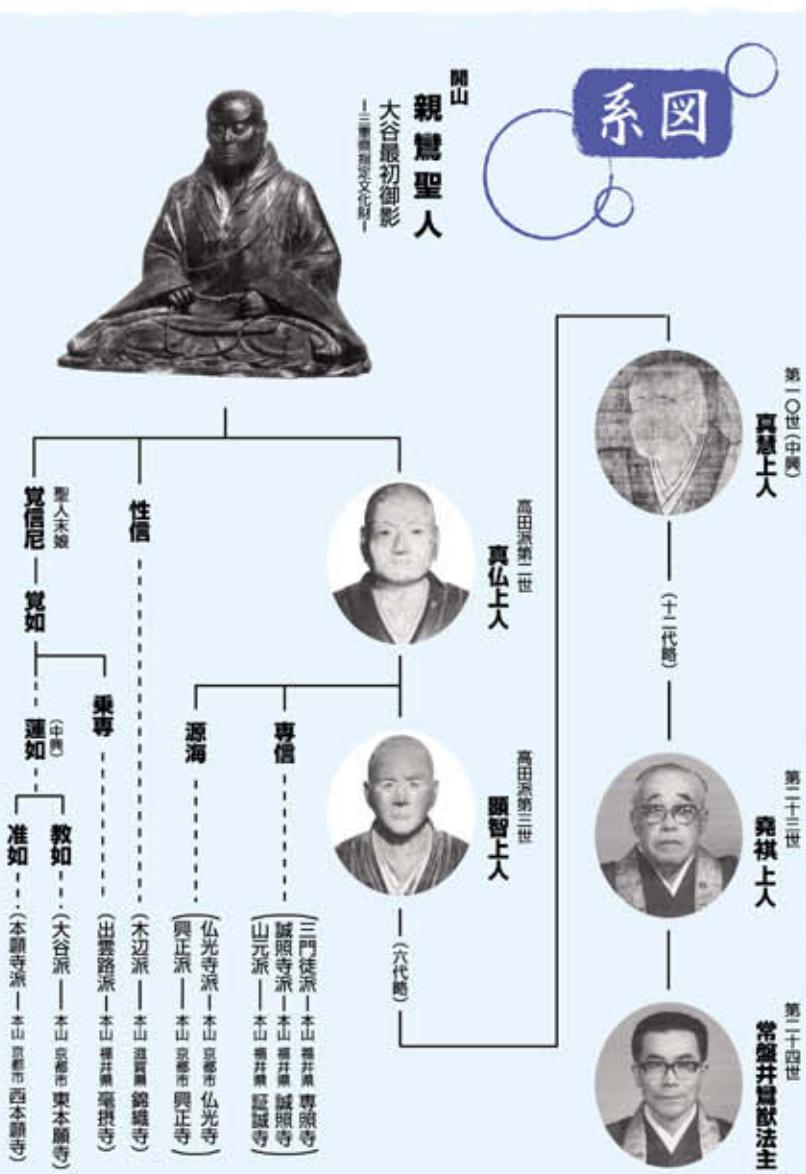
人を訪ね、百日間聽聞し、自分の救われる道を問い合わせた。念佛は、願いをみ仏に届ける言葉ではなく、「わが名を呼ぶものを必ず救う」というみ仏からのよび声。よび声を素直に聞けるかどうか、他力救済の核心を聞いた聖人は大きな喜びが沸き出てき

しかし、念佛が盛んになるにつれ、公然と専修念佛の禁止という非難の火の手があがる。また、「承元の法難」により聖人は越後へと流罪となつた。

後への配流が解かれた。厳しい
人流生活や関東での民衆教化を
通し、聖人は庶民にとって、念佛
こそが確かな救いの教えである
と確信。宗教義の骨格を数年か

けい 輸洋士 真実教行説文類(けんじょうどしんじつきようぎょうしうもんるい)としてまとめ、52歳の時、草稿が完成する。翌年には「高田の地に念佛道場を建立せよ」「ご本尊として

信濃（長野県）の善光寺から「光三尊仏をお迎えせよ」という二つの有名な夢告があり、地元の念仏者たちは、遂に一字を建立する。これが高田派の起源である。



真宗高田派本山発行
「高田本山専修寺」より

| 歴代上人名 | 事項 |
|-----------------|--|
| 開山 親鸞聖人 | <p>誕生 承安3年(西暦1173年)4月1日。</p> <p>9歳 慶円のもとで出家して、比叡山で修行。</p> <p>29歳 六角堂に参籠し、聖徳太子の夢告によって、法然上人の門下に入る。</p> <p>35歳 念仏彈圧により、越後に流罪となる。</p> <p>42歳 関東に入り、各地を教化する。</p> <p>54歳 下野国高田に専修寺を創立し、一光三尊仏を本尊とする。</p> <p>63歳 このころ京都に帰る。</p> <p>84歳 息子の善鸞を勘当する。</p> <p>90歳 弘長2年(1262年)11月28日往生。</p> |
| 下野時代 | <p>2世 真仮 3世 頤智 4世 専空 5世 定専 6世 空仮 7世 順延 8世 定順 9世 定顕</p> <p>高田の如来堂を中心に、教団を拡大する。 聖人の葬儀を営み、大谷廟の造営に力をつくすと共に、東海など各地へ教えを弘める。 本寺を整備して「専修阿弥陀寺」と称する。</p> <p>関東門徒のリーダーとして、大谷廟の寺院化に疑義を唱える。</p> |
| 10世(中興) 真慧上人 | 生涯を通じて伊勢・北陸方面を精力的に巡化し、教えを弘める。寛正6年(1465年)ころ、一身田に無量寿院(のちに専修寺)を建てる。文明10年(1478年)、高田専修寺は皇室の御祈願所に指定され、歴代住持は天皇より任命されることになる。 |
| 一身田時代 | <p>11世 応眞 真智 堯寛 13世 堯眞 14世 堯秀 15世 堯朝 16世 堯円 17世 円猷 18世 円遵 19世 円祥 20世 円福 21世 堯昌 22世 堯猷 23世 堯泰</p> <p>下野専修寺火災。真智方と正統を争う。 常盤井宮家より入室。のち越前に退いて別に専修寺を建てる。</p> <p>天正2年(1574年)、「門跡」の称号が勅許される。</p> <p>火災により炎上した一身田の両御堂再建される。</p> <p>一身田は再び大火に遭い、いまの御影堂が再建される。</p> <p>江戸幕府とのトラブル発生し、宝物を護るために自決。</p> <p>いまの山門が建立される。</p> <p>いまの如来堂が完成する。</p> <p>勸学堂(のちの高田学苑)を建立し、教学の興隆につとめられる。</p> <p>山門に「高田山」の額をかけられる。</p> <p>いまの唐門ができる。</p> <p>明治9年、真宗各派連合の管長となり「見眞」の勅額下附をうけ、明治13年、天皇行幸になる。</p> <p>仏教文化の開設など、学問の振興につとめられる。</p> <p>明治14年、坐禅場、宝塔堂など、社会復興事業の充実をめざすと共に、宝物館を建立される。</p> |

高田本山専修寺境内施設紹介

◆御影堂

専修寺の山門をくぐると正面に見えるのが、境内でも一番大きな重要文化財に指定されている御影堂である。

寛文6年(1666)に建立された御堂には、宗祖親鸞聖人の木像を中心、歴代上人画像を両脇に安置している。

739畳敷という全国に現存する木造建築の中でも5番目に大きな御堂は、間口42.72m、奥行き33.50mの大伽藍で、一重瓦葺となっている。

外観は純和様の建築により、(単層)入母屋造、向拝三間付本瓦葺となっている。



簡素で落ち着いているが、内部は華やかな装飾が施されている。

平成12年4月から始まつた「平成大修理」も平成19年(2007)12月20日に完了。毎年1月9日~16日に行われる真宗最大の法会「報恩講」には多くの参詣者が訪れている。

平成12年4月から始まつた「平成大修理」も平成19年(2007)12月20日に完了。毎年1月9日~16日に行われる真宗最大の法会「報恩講」には多くの参詣者が訪れている。

財。

教義上、如来堂が専修寺の本堂となり、間口25.66m、奥行き26.62m、一重裳階付入母屋造向外

外観は2階建てのようだが、2階ではなく、下層の屋根は裳階と呼ばれ、3種の庇となっている。

華麗な建築となっている。寛延元年(1748)に建築され、棟梁は近江八幡の高木但馬、脇棟梁は白塚の長谷川十右衛門と浜田の村田喜太郎と伝えられている。樺宗様(唐様)という建築技法により作られており、精巧で

華麗な建築となっている。寛延元年(1748)に建築され、棟梁は近江八幡の高木但馬、脇棟梁は白塚の長谷川十右衛門と浜田の村田喜太郎と伝えられている。樺宗様(唐様)という建築技法により作られており、精巧で

と呼ばれ、3種の庇となっている。



軒に大きな唐破風があることから唐門と呼ばれ、親しまれてい

る。文化6年(1809)の木挽きに始まり、文政10年(1824)に上棟。材料は全て良質の櫻

を始め、親子の獅子などの彫刻が施され、華麗で装飾も見事な

7)の地築き、天保15年(1844)に上棟。材料は全て良質の櫻を始め、親子の獅子などの彫刻を施され、華麗で装飾も見事な

4)に上棟。材料は全て良質の櫻を始め、親子の獅子などの彫刻を施され、華麗で装飾も見事な

7)の地築き、天保15年(1844)に上棟。材料は全て良質の櫻を始め、親子の獅子などの彫刻を施され、華麗で装飾も見事な

4)に上棟。材料は全て良質の櫻を始め、親子の獅子などの彫刻を施され、華麗で装飾も見事な



問い合わせ

案内希望の方は事前に予約必要。要時間は午前9時~午後4時。行事開催などでお断りする場合あり。

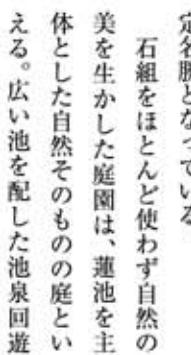
料金—志納。
・真宗高田派専修寺進納所
〒514-0114
津市一身田町2819番地
電話 059(236)5702



◆宝物館

専修寺が誇る親鸞聖人真蹟の数々を収蔵する宝庫で、昭和37年(1962)の親鸞聖人御誕生700年法要を記念して建造された。

国宝三帖和讃を始め、親鸞聖人の墓とそれをとり囲むように専修寺歴代住職のお墓と一緒に鶯聖人の御廟がある。唐門、拝堂、石橋と渡つて堀の間を抜けると、真宗の開祖親鸞聖人の御廟がある。親鸞聖人のお墓は寛文11年ある。



◆鐘楼

1間4方で入母屋造の屋根をもつた一般的な鐘楼となつてゐる。4隅の柱は四方転びといふ

如来堂の西側、石橋を渡つて

親鸞聖人の御廟がある。

唐門、拝堂、石橋と統きその奥

にある。4隅の柱は四方転びといふ

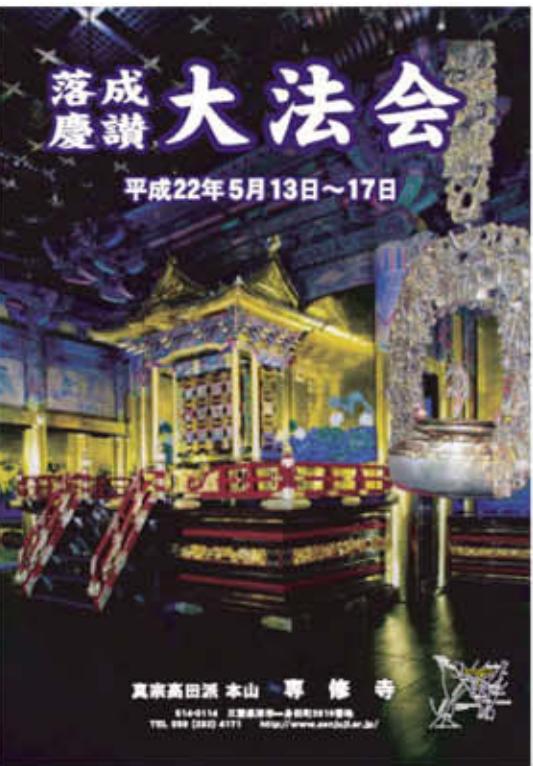
唐門、拝堂、石橋と統きその奥

にある。4隅の柱は四方転びといふ</p

◆御影堂平成大修理落成慶讚大法会

真宗高田派本山専修寺の御影堂は、優れた寺院建築として国的重要文化財に指定されてい

聖人七百五十回遠忌報恩大法会」に向け、御影堂平成大修理は平成12年から進められた。8年の歳月をかけた修理は平成20年に全工程を完了し、御影堂は落成した。



◆本山諸法会

- | | |
|---------|------------|
| 修正会 | 一月一日～三日 |
| 報恩講 | 一月九日～十六日 |
| 讀佛會 | 三月十七日～二十三日 |
| 十万人講法會 | 四月六日～十日 |
| 戰沒者追弔法會 | 四月十一日 |
| 干部法會 | 四月十二日～十七日 |
| 前住上人御正當 | 五月六日～八日 |
| 親鸞聖人降誕會 | 五月二十一日 |
| 歡喜會 | 八月十四日～十六日 |
| 讚佛會 | 九月二十日～二十六日 |
| 資堂講法會 | 十月一日～三日 |
| 納骨堂法會 | 十一月三日～四日 |
| 秋法會 | 十一月五日～十日 |
| 中興上人御正當 | 十一月八日～十日 |



真宗高田派本山専修寺の御影堂は、優れた寺院建築として国際的に評価され、重要文化財に指定されている。この貴重な文化財を後世に受け継ぎ、平成24年4月の「開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会」に向け、御影堂平成大修理は平成12年から進められた。8年の歳月をかけた修理は平成20年に全工程を完了し、御影堂は落成した。

同寺では、平成22年5月13日から17日まで厳修する「御影堂平成大修理落成慶讃大法会」に合わせ、平成20年6月1日に御影堂落成慶讃大法会事務局を開局。

「老若男女を問わず、たくさんの方に念佛高田再興の機縁として、お参りに来てよかつたと喜んでもらえるような法会にしようと」と準備を進めていたという。

平成22年5月13日から17日の期間中は、午前法要、午後法要を中心に行なわれる。作家の五木寛之氏や医学博士で作家の養老孟司氏、イオングループ会社名譽会長の岡田卓也氏など著名人の講演や筑前琵琶奏者の中野まり氏や雅楽演奏家

の東儀秀樹氏、胡弓の会の演奏などを開催する予定である。他にも各種行事を企画中である。5月15、16日には、庭儀式（稚兒練り）が行われる。真宗各派御門主御参詣（御焼香）や布教伝道を始め、各種大会や祝賀行事も行われる。

また、宝物館での展示や信者や市民による「華道・書道・写真・絵画など」の各種作品展もある。境内に設置された舞台では、芸能披露や子供向けのショーやなども行われ、幅広い年齢層の参拝者が楽しめる内容となっている。

「皆様のご参詣を心よりお待ち申し上げています」と事務局にこやかに話す姿が、清々しかった。

